

令和2年度 第1回 備前市公共交通会議 会議録要旨

開催日時：令和2年8月28日（金） 14時00分～15時00分

開催場所：備前市市民センター 3階視聴覚室

出席委員：田原 隆雄【備前市長】

藤田 政宣【備前市市民生活部長】

久保 聡志【西日本旅客鉄道（株）】

小野 一嘉【県タクシー協会和気支部】

西山 尚孝【瀬戸内観光汽船(株)】

川平 章【備前市自治会連絡協議会】

金本 伸一【備前市自治会連絡協議会】

中磯 潤一【備前市自治会連絡協議会】

松浦 三秀【備前市自治会連絡協議会】

三宅 陽【備前市老人クラブ連合会】

杉山 玄意【備前市老人クラブ連合会】

大東 正虎【岡山商科大学経営学部経営学科 教授】

石田 剛史【中国運輸局岡山運輸支局】

西村祐有起【中国運輸局岡山運輸支局】

松尾 恭子【岡山県県民生活交通課】

青砥 良定【瀬戸内市総合政策部企画振興課】

新田 憲一【和気町総務部危機管理室くらし安全係】

出席 17 名、委任状提出 5 名

事務局：市民生活部市民協働課

藤森（課長）、森本（係長）、千田

1. 開会

2. 会長あいさつ（及び委員紹介）

会 長：

皆さんお暑い中、そして新型コロナウイルス感染症が心配される中、ご出席いただきありがとうございます。今から公共交通会議を開催いたしますが、平素より市の交通問題に関心を持ってご助言いただいておりますこと、感謝を申し上げます。

本日の主な議題としては、10月1日からの新規バス停設置及び一部ダイヤ改正について、ご協議をお願いいたします。簡単な議題になりますが、法令に則った会議ですので、本日お集まりいただいた趣旨について、ご了解をいただきたいと存じます。また、公共交通会議終了後に公共交通空白地有償運送運営協議会も引き続き開催いたしますので、併せてお願いをいたします。

なお、後ほど報告がありますが、備前市では今後、備前片上駅前を整備を予定しております。予算の承認後に事業を進め、来年4月以降は新しい備前片上駅を起点としたバスの路線の見直しや、バスのダイヤ改正が想定されます。一方で本市の公共交通に係る経費が年間で1億6000万円以上にのぼっているにもかかわらず、利用者がおらず空気を運んでいるようなバスも運行しており、市民の皆さまからのご批判をいただいています。皆さんのご意見を聞く機会はこの公共交通会議が中心になりますので、お気づきの点があれば発言していただき、市で検討している内容をご理解いただいて、手遅れにならないよう事業に取り組んでいきたいと思っております。

会議という形式上、一方的な発信になりがちですが、できるだけ忌憚のないご意見を事務局へ申し付けてください。公共交通に対しては多額の予算をかけているので、それらを有効に活用できるよう、是非とも皆さんのお知恵をお借りしたいことを申し上げまして開会のご挨拶といたします。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局：

つづきまして、出席者のご紹介を行います。お手元に委員名簿を配布させていただいておりますので、ご覧ください。

このたびの人事異動及び自治会連絡協議会の役員改選等により、新たにご委員となられた方をご紹介します。

はじめに備前市役所市民生活部長・藤田政宣でございます。一言自己紹介をお願いいたします。

藤田委員：

公共交通の環境整備に努めて参りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

事務局：

つぎに、自治会連絡協議会副会長・松浦三秀様です。恐れ入りますが、一言自己紹介をお願いいたします。

松浦委員：

4月1日から備前市の自治会連絡協議会の副会長に就任しました。よろしくお願いします。

事務局：

つぎに、岡山県県民生活交通課・松尾恭子様でございます。恐れ入りますが、一言自己紹介をお願いいたします。

松尾委員

岡山県県民生活交通課で備前市を担当しております。お手元にセミナーのご案内をお配りしておりますが、自治体が運営しているバスの情報の経路検索サイト対応についての講座になります。交通事業者や自治体の担当者が主な対象ですが、公共交通の利用促進に係る内容ですので是非、ご参加いただければと思います。

事務局：

ありがとうございました。最後に私は、事務局として本日の進行役を務めます市民協働課長の藤森でございます。よろしくお願いいたします。

なお、本日の出席委員は17名で、表決委任状5通、要綱第5条の規定により過半数を超えておりますので、本会議が成立していることを報告いたします。

3. 協議事項

(1) 新規バス停設置及び一部ダイヤ改正について

－事務局からの説明（資料① P1～P9）－

市営バス頭島線は頭島の入鹿から日生港の定期船乗り場までを運行しております。頭島線の延伸はかねてから湾戸地区への買い物及び通院への移動手段として市営バスの乗り入れの要望がありました。湾戸地区は最寄りのバス停から400m以上離れ、既存の公共交通でカバーできていない状況にもあり、この度、湾戸地区のコンフォールひなせまで路線を延伸するで、利用者の利便性向上を図ることとしております。

資料の1頁から8頁については新規に設置するバス停位置について記載しております。

日生港の定期船乗り場から湾戸地区のコンフォールひなせまでの間に新たに川向会館前

バス停、湾戸バス停、コンフォールひなせバス停の 3 箇所を設けることとしています。また、五味の市を経由するルートを新たに追加し、楯越山東バス停、五味の市バス停の 2 箇所を新たに設けることとしています。

次に資料 9 頁の運行ダイヤ改正案についてですが、改正部分を赤字で記載しております。主な改正内容として、改正前は始発便は頭島の入鹿発、最終便は入鹿着になっていましたが、車両を本土側から出発させるため、回送を実車にし、改正後はコンフォールひなせから入鹿行きの便を平日、土日祝日運行の第 1 便にして、入鹿からコンフォールひなせ行きの平日運行の 8 便と土日祝日運行の 7 便は経由バス停を追加しております。また、土日祝日運行ダイヤにおいても利便性向上を目的に、それぞれ 3 便目に 10 時台の便を追加し、平日運行ダイヤに合わせたダイヤに修正します。次に入鹿から日生定期船乗り場行きの平日及び土日祝日運行の入鹿発 9:30 の便を 25 分早め、入鹿発 9:05 とし JR との接続を見直しております。その他の改正部分につきましては、新規バス停設置に伴うバス停間の調整でございます。なお、今回の改正につきましては 10 月 1 日からの開始を予定しております。簡単ではありますが説明は以上です。

会 長：新規バス停の設置及び一部ダイヤ改正について、意見や質問はありませんか。

委 員：五味の市を回る路線について、楯越山東のバス停が少し不便な位置なので、もう少し北側のマンションに近い場所か、予定の位置より南側に設置した方が便利ではないでしょうか。何もない場所にバス停を設置するより施設等の近くに設置した方が良と思います。

事務局：楯越山東のバス停について、マンションに近い場所での設置を検討しましたが、交差点や駐車場の出入口に近いということもあり、警察との協議の上、安全性を考慮してこの場所に設定いたしました。

委 員：仕方ないことだと思いますが、この位置は便利ではないと思います。

委 員：アセスメントの過程で、市営バスの延伸等により日生のタクシー事業者の売上に影響はないのですか。日生のタクシー事業者は観光での収益比率が備前市内のタクシー事業者内で最も高いように思うので、観光地までバスが行くことによってタクシーの営業に支障がないか心配しています。

事務局：頭島線の運行は日生地域のタクシー事業者に委託しており、事前にダイヤ改正案について相談しております。タクシー事業者からは特に問題がないという意見を伺っているため今回のダイヤ改正案をお示ししました。

会 長：他に意見が無いようですので、新規バス停の設置及び一部ダイヤ改正について承認していただけますか。

<承認>

（２）瀬戸内市営バス（美和線）の終点変更に係る路線延長について

－事務局からの説明（資料② P10）－

瀬戸内市では、現在、市営バス全 6 路線共通の終点を J R 邑久駅として運行していますが、令和 2 年 11 月（予定）から、市営バス相互の乗継環境の整備と利便性向上を目的として、J R 邑久駅の南東約 300 メートルの位置にある「ゆめタウン邑久店」に新設する停留所を終点に変更することとしており、これに伴い、路線のキロ程（片道の距離）を約 300 メートル延伸することになります。

瀬戸内市営バスは、自家用有償旅客運送（市町村運営有償運送）の形態で運行していることから、「路線の延長、増加又は変更」を行う際には、変更しようとする路線に係る市町村が主催する“地域公共交通会議等において協議が整っていることを証する書類”を県知事に提出する必要があります。

瀬戸内市では、本年 8 月 5 日に開催した公共交通会議において合意の確認をしています。備前市新庄地区を路線の一部としている「美和線」については、備前市公共交通会議における合意が必要であることから、議題としております。説明は以上です。

会 長：手続き上の問題なので特に問題がなければ承認といたします。

<承認>

4. 報告事項

公共交通網形成計画推進事業（瀬戸内市営バスの再編に向けた事業）について

－事務局からの説明（資料③ P11～P12）－

備前市では、平成 27 年 10 月の民間事業者の撤退を受け、市全域で備前市営バスを運行し、市民生活の移動を担ってきました。一方で、運行から 5 年が経過し、市民の移動ニーズは変化が見られ、人口減少・高齢化の進展や運転手不足等、社会環境や交通を取り巻く環境が大きく変化しております。

このような状況を踏まえ、令和 2 年 3 月に「備前市地域公共交通網形成計画」を策定し、

地域の移動手段を将来に渡って残していくため、市民の日常生活における移動利便性向上や効率的な公共交通ネットワーク形成に向けた取組として、備前市営バスの路線再編等に取り組むこととしています。

このことを踏まえて本事業では備前市営バスの乗降記録から詳細な利用実態の分析を行うとともに利用者のニーズや意見を把握するための調査を行い、調査結果を基に再編計画を検討いたします。

資料③11 頁の下段には備前市営バスの課題として移動ニーズへの対応、効率化を目指した運行、利便性の向上と利用環境整備、交通結節点との連携といった備前市公共交通網形成計画より一部抜粋したものを掲載しておりますのでご覧いただければと思います。

次に 12 頁ですが、本年度の事業内容の主なものとして、備前市営バス路線再編に向けた調査・分析等を行うこととしています。

まず、備前市営バスの乗降記録データを整理し、詳細な利用実態を分析することとしております。また、バス利用者の意見や詳細な移動実態を把握するために、主要交通結節点 5 箇所（片上、伊部、日生、吉永、伊里）で聞き取り調査を実施する予定です。なお、より多くの利用者の意見が把握できるようにバス車内にも簡単なアンケート調査と回収箱を設置するように検討しております。このような作業の後、市営バスの運行状況や課題等を再度整理し、備前市営バスの再編における詳細な運行計画案を作成することとしております。

会 長： 委員の皆さんから意見等ございましたらお願いします。

委 員： 前回会議で備前市営バスの改善に向けた取組を検討していくということでしたが、日生地域から幹線道路だけではなく、民家の多い路地で運行してほしいという意見があり、ドアツードア型の輸送への転換は難しいかもしれませんが、そのような考え方も取り入れて、細やかな対応をしてもらいたいと思います。また、以前から発言している西鶴山地域での長船までのバスの運行について、通学と帰宅の時間帯だけでもあれば、交通の空白地域が解消されるのではないかと思います。現在、地域からの要望がないということであれば、地域に投げかけて意見を把握することで、参考にしてもらいたいです。

事務局： ご意見いただいた内容については、今後の再編を検討していく中で参考にしたいと思います。

会 長： 公共交通の事業は、市の予算と多くの人を投入しているので、有効に活用もらいたいです。意見を聞くことも重要ですが、スピード感を持って進めてもらいたいです。

5. その他

事務局：備前片上駅前の整備について、昨年備前片上駅西側用地旧日下電機跡地を取得しました。こちらの店舗跡地に路線バスとスクールバスの駐車場、隣の備前片上駅舎に市営バス管理事務所を整備することとなっております。旧日下電機跡地については既存の建物を取壊し、路線バス、スクールバスの駐車場と簡易トイレ等を整備する予定となっております。備前片上駅舎内については既存の建物をリノベーション等により備前市営バス管理事務所及び駅舎内にトイレを整備することとなっております。路線バス、スクールバス駐車場及び市営バス管理事務所については今年度末完成の予定となっております。完成した後は市営バスターミナルとして備前片上駅を市営バスの起点としていくこととなっております。

会 長：他にございませんか。では、以上をもちまして第 1 回備前市公共交通会議を閉会します。ありがとうございました。

6. 閉会

以上